

そうだ 暗闇、行こう！ 目以外の感覚を使って旅を楽しむ

「まっくらの中の電車に乗って感覚の旅へ！」3 月 21 日

(火・祝) より東京・竹芝、ダイアログ・ダイバーシティ

ミュージアム「対話の森」にて開催

一般社団法人 ダイアログ・ジャパン・ソサエティ(東京都港区 代表・志村季世恵)は、2023 年 3 月 21 日(火・祝)より、ダイアログ・イン・ザ・ダーク「まっくらの中の電車に乗って感覚の旅へ」を開催します。照度 0 (ゼロ)の暗闇の中で本物の電車に乗り、感性を開き心潤わす旅にいきないます。



2020 年の早春から、世界中で旅はおろか外出もしづらくなり、春のお花見も気楽にできなくなった私たち。あれから 3 年が経ち、2023 年の春、閉じていた感性をようやく開くことができるようになりました。ダイアログ・イン・ザ・ダーク「まっくらの中の電車に乗って感覚の旅へ」は、感覚を研ぎ澄ます格別な体験をご用意します。世界にたった一つしかない前人未到の感覚の旅。そのお供は聴覚。触覚。嗅覚。そして味覚。視覚を手放して出かけてみる楽しみを覚えたら、きっと明るい世界の旅も更に豊かになるはず。

参加者は 8 人 1 グループとなり、白杖を手に漆黒の暗闇へ。旅を案内するのは視覚障害者のアテンダーです。そして暗闇の中で、本物の電車に乗り、旅が始まります。ダイアログ・イン・ザ・ダーク「まっくらの中の電車に乗って感覚の旅へ」。どんな旅が待っているでしょうか。ぜひダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」にご来場ください。

【取材お問い合わせ先】

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ 広報／山崎

press@dialogue-japan.org / 03-6231-1640 <https://djs.dialogue.or.jp/>

【開催スケジュール】

2023年3月21日(火)～6月25日(日) (月曜休館)

各回定員8名、事前予約制。体験時間は1回約90分。

日程によって開催時間が異なります。詳細は予約ページをご覧ください。

<https://taiwanomori.dialogue.or.jp/did-ticket/>

【開催場所】

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」

東京都港区海岸一丁目10番45号 アトレ竹芝シアター棟 1F

【体験料】

大人3,850円／中高生・大学・専門学生・大学院生:2,750円／小学生:1,650円

※ご体験は小学生以上が対象です。未就学の方は体験いただけません。

【特別協賛】東日本旅客鉄道株式会社 / 清水建設株式会社

【協賛】日鉄興和不動産株式会社 / 株式会社ベネッセホールディングス

【特別協力】株式会社アトレ

ダイアログ・イン・ザ・ダークとは

純度100%の真っ暗闇の中で、見ること以外の感覚を使い、驚きに満ちた発見をしていくエンターテインメント。体験を案内するのは、普段から目をつかわない視覚障害者のアテンド。視覚以外の感覚を広げ、新しい感性を使い、チームとなった方々と様々なシーンを体験する。1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれ、これまで世界47か国以上、900万人以上が体験。日本では1999年に初開催し、24万人以上が体験した。現在は東京・竹芝のダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」、東京・神宮外苑「内なる美、ととのう暗闇。」にて体験が可能。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク

<https://did.dialogue.or.jp/>

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」コンセプト

みえないからこそ、みえるもの。聞こえないからこそ、聴こえるもの。老いるからこそ、学べること。目以外の感性を使い楽しむことのできる「ダーク」では、見た目や固定観念から解放された対話を。表情やボディランゲージで楽しむ「サイレンス」では、言語や文化の壁を超えた対話を。そして「タイム」では、年齢や世代を超え、生き方について対話をします。世代。ハンディキャップ。文化。宗教。民族。世の中を分断しているたくさんのものを、出会いと対話によってつなぎ、ダイバーシティを体感するミュージアム。この場で生まれていく「対話」が展示物です。

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」

<https://taiwanomori.dialogue.or.jp/>

【取材お問い合わせ先】

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ 広報／山崎

press@dialogue-japan.org / 03-6231-1640 <https://djs.dialogue.or.jp/>